タキタキッズプラザ

病児保育室だより　（21 年度秋号）

479-0835
常滑市陶郷町１－８－１
TEL 0569-36-2112
FAX 0569-36-2226
http://takitaplaza.jp/kids.html

朝夕　涼しくなり、過ごしやすくなってきましたね。

今のところ　インフルエンザの入室は思っていたより少なく、入室されたお子さんも早めに回復しておられます。朝夕と日中の温度差が激しい時なので、上着等で調節して気をつけていきましょう。

タキタキッズプラザもこの９月で 10 年目に入りました。常滑市内だけでなく、近隣市町村のたくさんの方にタキタキッズプラザを利用していただいております。

お預かりしたお子さんが病気の時でも子どもらしく生き生きと過ごすことができ、安心して心地よく過ごせる場である様に努力していきたいと思います。

小児科医　瀧田恭代

㊗ 熱性痙攣のあるお子さん、㊙ダイアップを使っている人は、ダイアップでボーとしているのか、脳症なのかわかりにくいです

今まで、インフルエンザは冬に流行すると思っていました。今年は、新型インフルエンザが夏に流行し、8月に多く9月に学級閉鎖をした学校、保育園もありました。新型は小さい子、病気を持っている人に重症化しやすいがそれほど症状は無く、感染が早いと思います。日本と反対の南半球の方でオーストラリア、南アメリカなどでは、冬でしたので、みてみると、新型が流行していました。あまり熱もない人もありますが、胃腸症状を訴える人が多いです。インフルエンザは、基本的には熱、頭痛、関節痛です。インフルエンザ脳症は、インフルエンザウイルスが脳へ入ってしまって脳が腫れあがる時で、吐き、痙攣、ぼーとしているなどあり初期はみつけにくく、重症になりやすいので、お医者さんへ行こうね！

保育士から

思いがけない子どもからの「なぜ？」にことばが詰まってしまうことはありませんか？

子どもの「なぜ？」は成長の大切な一過程。疑問をじょうずに受け止め好奇心の芽を育む答え方をしたいですね。

「どうしてだろう」「なんでだろう？」といった思いが生じるのは子どもの成長の表れです。保育者は子どもの質問から何に興味があるかを知ることもできます。それが日常の保育をおこなう上でのヒントになることもあるので、子どもの「なぜ？」にアンテナを張って、日々子どもたちと楽しい会話のやりとりを楽しんでいます。

❤ 病児保育室の本棚から ❤

どんな絵本か見にいらして下さい

トゥートとパドル
なんてったってせかいいち
作：ホリー・ホビー　訳：二宮由紀子

魔術師の弟子
文：バーバラ・ヘイズン
絵：トミー・ウンゲラー
訳：たむらりゅういち

めちゃめちゃはずかしかったこと
文：リュドヴィック・フラマン
絵：エマニュエル・エカウト
訳：ふしみ　みさを

旭日山動物園物語　オオカミの森
文：小菅正夫　絵：あべ弘士